

# 一般会計

教育や福祉、環境、公共施設の整備など市の基本的な行政サービスを行うための会計です。市の1年間の全収入(歳入)と全支出(歳出)は以下のとおりです。

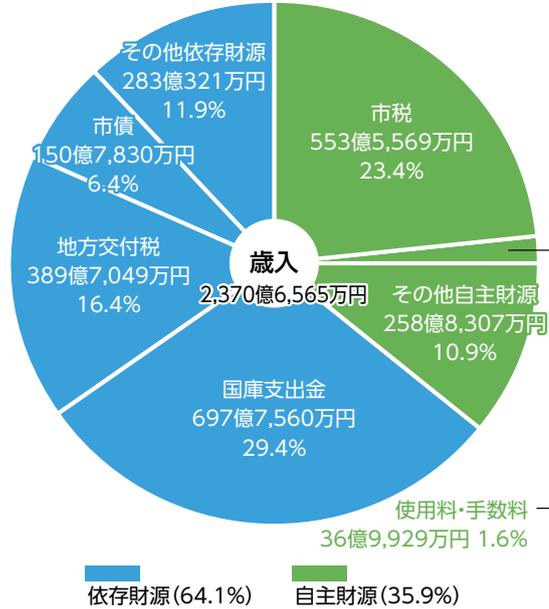
## 歳入

2,370億6,565万円

市税収入などの自主財源の割合が低く、国から交付される国庫支出金・地方交付税などの依存財源の割合が高くなっています。



前年度と比較して、自主財源が1.7%増加したよ!



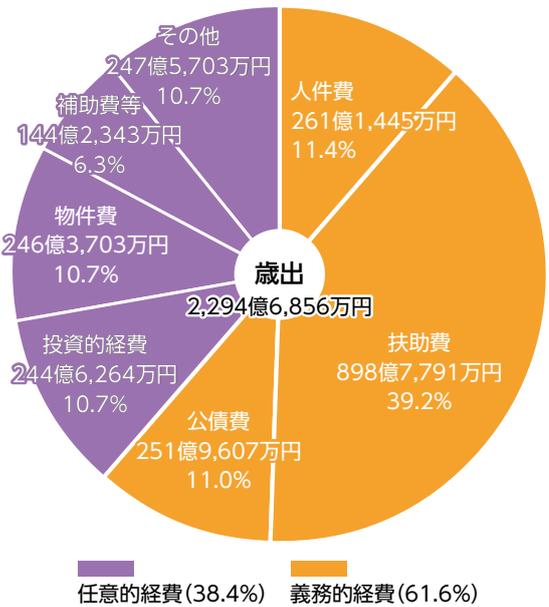
## 歳出

2,294億6,856万円

扶助費(被爆者や子ども、高齢者、障害者福祉などの経費)などの義務的経費の割合が高く、市が支出額を調整できる任意的経費の割合が低くなっています。



前年度と比較して、義務的経費が1.5%増加したんだね



## なぜ毎年市債の借り入れが必要なの?

道路や公共施設の整備などには、一度に多額のお金が必要です。一度にまとめて支払うと市民の負担割合が偏ってしまうため、市債を発行し長期にわたって分割して支払うことで世代間の負担を公平にしています。



広報ながさきキャラクター コーホーさん

# 令和5年度 決算報告

令和5年度に、市にどのくらいのお金が入ってきて、そのお金を何に使ったのかをお伝えします。自治体の決算は一般会計と特別会計、企業会計の大きく3つに分かれています。(金額は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります)

財政課 ☎ 829・1126

## 企業会計

それぞれの事業の使用料などの収益で支出をまかなう独立採算が原則の会計です。

会計	区分	決算額
水道事業	収益的	収入 111億 730万円
		支出 94億 7,041万円
	資本的	収入 9億 9,142万円
		支出 65億 1,106万円
下水道事業	収益的	収入 130億 6,680万円
		支出 132億 4,434万円
	資本的	収入 65億 8,258万円
		支出 100億 7,979万円

### 収益的収入・支出

日々の企業の経営活動により生まれる収益とその費用

### 資本的収入・支出

将来に備えて行う建設改良費などの費用とその財源

## 特別会計

保険料や使用料など目的が定められた収入で、その事業の支出をまかなう会計です。

会計	収入済額	支出済額
観光施設事業	3億 6,995万円	3億 4,914万円
国民健康保険事業	535億 9,232万円	534億 6,773万円
土地取得	28億 4,452万円	22億 5,899万円
中央卸売市場事業	2億 4,115万円	2億 4,115万円
駐車場事業	2億 1,522万円	2億 1,522万円
財産区	1億 722万円	1億 722万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1億 2,956万円	8,848万円
介護保険事業	487億 8,295万円	477億 5,129万円
生活排水事業	4億 7,427万円	4億 2,585万円
診療所事業	3億 6,271万円	3億 6,271万円
後期高齢者医療事業	63億 7,003万円	62億 565万円
長崎市立病院機構病院事業債管理	11億 9,590万円	11億 9,590万円
合計	1,146億 8,579万円	1,126億 6,932万円
前年度比	0.8% 増	1.1% 増

## 言葉の解説

- ・ **市税** 個人住民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税など
- ・ **国庫支出金** 地方自治体の特定の事業に対して国が使い道を指定して交付するお金
- ・ **地方交付税** 財源が足りない自治体に国が使い道を指定せず再配分するお金
- ・ **市債** 公共施設の整備など建設事業を行うときに国や金融機関などから調達する借入金
- ・ **人件費** 市の職員の給与や議員、審議会の委員への報酬などの費用
- ・ **公債費** 過去に借り入れた市債の返済費用
- ・ **投資的経費** 学校、道路、公園など公共施設の整備などの費用
- ・ **物件費** 委託料、消耗品や備品など、事業の実施に要する費用
- ・ **補助費等** 市内の団体などに対する負担金や補助金などの費用

## What's ZAISEIでさらに詳しく解説！

市の財政状況を Q&A 形式で分かりやすくまとめた冊子です。今回の特集で説明できなかったポイントもたくさん載っています！

こちらからチェック▶  
(11月下旬頃公開予定)



## 今後の見通しは「中期財政見通し」で

令和6年度の財政の年間見込み額や景気などを踏まえて、令和7年度から11年度までの5年間の財政の見通しを示しています。

こちらからチェック▶  
(11月下旬頃公開予定)



# 主な取り組み

市が目指す将来の都市像「個性輝く世界都市」「希望あふれる人間都市」の実現に向けて実施した主な取り組みを紹介します。

## 宿泊税の活用による魅力向上 2億9,717万円

昨年度から導入した宿泊税による税収を活用し、長崎ならではの体験コンテンツや観光情報サイト「travel nagasaki」の充実などに取り組みました。

### 宿泊税って？

長崎市を「便利なまち」「楽しめるまち」「また行きたくなるまち」にするため、市が独自に課税する地方税。市内のホテルなどに宿泊すると課税されます。



## 給食食材費の高騰分を支援

2億4,075万円



学校給食や保育所などの副食（おかず）に使う食材の価格が高騰するなか、栄養バランスや量がこれまでと変わらないよう、高騰分を市が支援しました。

## 居住環境の改善

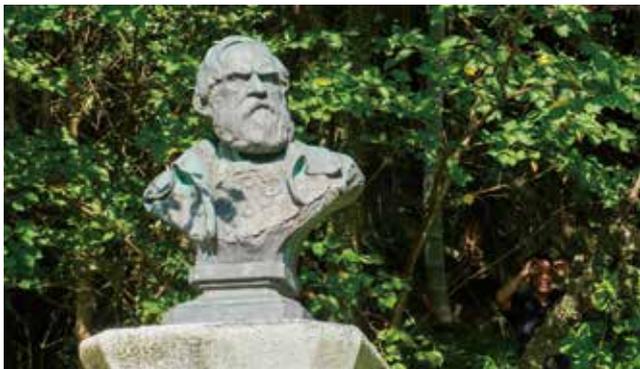
8,904万円



住宅性能を向上させるため、浴室・トイレのバリアフリー化や屋根の遮熱・断熱塗装による省エネ化など、住宅リフォーム工事費用の一部を助成しました。

## シーボルト来日200周年記念事業

2,413万円



出島オランダ商館医シーボルトの功績を伝える展示会の開催や、出島にオランダ国旗を掲揚する旗竿を設置し当時の出島を再現しました。

## キャッシュレス決済の推進

2,709万円



スマホ決済やコンビニでの納付ができるよう準備を進め、令和6年4月から学校給食費などほぼ全ての納付書でキャッシュレス決済が可能になりました。

# 基金・市債の状況

## 基金（貯金）

基金は、財政運営や特定の目的のための資金・財産です。令和5年度末の残高は約420億円です。

## 一時借入金

一会計年度内での収入と支出の一時的な不均衡を解消するための借入金です。令和5年度の最高借入額は107億5,091万円です。

## 市の財産

新しくなった市役所をはじめ、消防署、学校、公民館や公園など、市が保有する財産のことです。

種別	金額
土地	2,511億6,663万円
建物	3,078億5,519万円
工作物	1,173億5,957万円
その他	231億4,996万円
合計	6,995億3,135万円

## 市債（借金）

令和5年度末の残高は約2,631億円で、そのうち国からの支援約1,346億円を除いた実質的な市債残高は約1,285億円です。

## 未収金

令和5年度は、差押えなどの強制徴収を含めた納付指導や、キャッシュレス決済の促進による利便性の向上などにより、前年度と比較して未収金が10%減少しました。長崎市債権管理条例のもと、適正な債権管理に取り組んでいます。

詳しくはこちら▶



収入種別	金額
市税	10億7,575万円
国民健康保険税	15億936万円
介護保険料	1億1,588万円
後期高齢者医療保険料	3,542万円
保育料	2,826万円
市営住宅家賃	1億3,079万円
その他	7億9,986万円
合計	36億9,532万円

# 今年度の上半期（4～9月）の財政状況

※9月末時点

## 一般会計

歳入	予算額	収入済額	収入率
	2,445億1,355万円	1,029億9,267万円	42.1%
歳出	予算額	支出済額	執行率
	2,445億1,355万円	942億9,652万円	38.6%

## 特別会計（国民健康保険事業や介護保険事業など11会計）

予算額	収入済額	支出済額
1,181億7,545万円	474億9,324万円	435億7,817万円

## 企業会計

会計	区分	予算額	執行済額
水道事業	収益的	収入 110億303万円	52億8,889万円
		支出 101億9,800万円	40億4,157万円
	資本的	収入 17億3,203万円	2億4,237万円
		支出 86億5,977万円	36億5,595万円
下水道事業	収益的	収入 126億8,314万円	62億6,189万円
		支出 117億8,618万円	48億5,549万円
	資本的	収入 59億6,439万円	12億6,232万円
		支出 96億7,312万円	32億4,990万円

## 市の財産

6,995億3,135万円

## 市債残高（一般・特別・企業会計の合計）

3,316億5,618万円

## 一時借入金

0円

人口で割ってみると、市債残高は約85万円なんだね。前年度の上半期は約87万円だったから、順調に減っているね！

